

第3日 十勝岳

【日 時】2017年7月9日（日曜日）

【天 候】晴れ

<Aコース>

【参加者】CL 中野裕司、SL 佐々木隆、SL 中山 昇、斉藤和枝、橋本和子
大石良子、友成君子、小林美和子、蓮池照子、高山正代、前田恵子
宮崎久美子、斉藤富士子、山田久美子、島野敏子 計15名

【コースタイム】

ホテル花神楽 6:00 - 望岳台 6:55/7:15 …… 美瑛岳分岐 8:35 …… 十勝岳避難
小屋 8:50/9:05 …… 中間地点(標高 1380m) 9:15 …… 十勝岳(1.6km) 0:55 ……
(昼食休憩) 11:30/11:55 …… 十勝岳山頂 12:40/12:45 …… 避難小屋休憩 14:35
/14:40 …… 望岳台 16:50

【感想】

7:15に望岳台を出発するが、今日は猛暑で体力の消耗が考えられるためか、30分ごとに休憩を取り、水分補給をしてゆっくりと登ります。足元に大きな石も多く砂地のような登山道が続きます。

北海道の火山の中でも特に有名で、1988年に噴火し、今も目の前には噴煙をあげ活動しています。植物は全体に少ないものの、特に背の低い植物が岩の僅かな隙間に咲いています。ミネヤナギ、エゾイソツツジなど白い花が多く咲いており、メアカンキンバイが所々で咲いていましたが、暑さと足場が悪くて花の鑑賞はソコソコでした。

1時間30分で避難小屋に着き、小屋の中にはヘルメット、水、懐中電灯、マット等が準備をされていました。

避難小屋を過ぎると、益々足場が悪く、バテバテとなり時間が過ぎて行きます。十勝岳山頂の下で昼食を済ませて、山頂に向かいますがガレ場が多く足元が悪くて大変でした。

山頂で記念写真を取り予定時間も過ぎていたので早々に下山開始。

往路を引き返しましたが、ズルズル滑り気の抜く間もなく只々滑らない様に注意して下山しました。下山後、足はガクガク、のどはカラカラでぐったりでした。後日の反省会で、皆様水が足りなかったと話していました。寒さ対策はしっかりとしていたのに、山は万全の準備が大切です。



① 望岳台

② 望岳台から十勝岳への急登



③ 十勝岳山頂

④ 十勝岳山頂にて



⑤ 望岳台に向かって下る



⑥ 望岳台から十勝岳を望む



